

大分県内の林業分野への就業を目指す 担い手確保を支援

～ おおいた林業アカデミー研修生9名に講義 大分森林管理署から6名の職員を派遣 ～

10月17日、「おおいた林業アカデミー」を運営する公益財団法人「森林ネットおおいた」(理事長 重本悟氏)から講師派遣の要請により、由布市湯布院町に所在する大分県林業研修所に、当署職員の植薄森林技術指導官、高倉総括森林整備官、嶋主任森林整備官、井上主任森林整備官、蒲池森林整備官、田吹技官の6名を派遣して講義を行い「担い手確保」の支援を行いました。

この「おおいた林業アカデミー」は、平成28年度から実施されており、平成30年度までの3か年に25名の研修生が卒業され、大分県内の林業分野で活躍されています。本年度で4回目となり、4月から3月までの約1年間に森林・林業・木材産業に関する基礎的な知識や技能講習、森林施業の現地研修などのカリキュラムを受講して、卒業後は大分県内の林業分野の担い手としての活躍が期待されています。

大分森林管理署としては、大分県内の林業就業者数の現状を踏まえ、林業の「担い手確保」の観点から当署職員を派遣し支援することとしました。午前中は、①森林・林業・木材産業の現状と課題 ②森林整備を推進するために～木材の生長と間伐理論～ ③木材の安定供給と採材。午後からは、星岳国有林に移動して間伐展示林において現地研修を行いました。

各講師とも、持ち時間のはじめの頃は緊張感が漂っていましたが、時間とともに緊張もほぐれて講義終了の際は質問もありました。

質問では、1日の生産量はどのくらいか、国有林はどのような販売を行っているのか、現地では、列状間伐の手法等質問がありました。

当署としましても、林業の担い手確保は重要な課題であると考えており、大分県で取り組まれている重要な施策でもあります。このような要請があった場合は、積極的な支援を行って林業の成長産業化へつなげていく取り組みを進めていきます。



講師 植薄 森林技術指導官

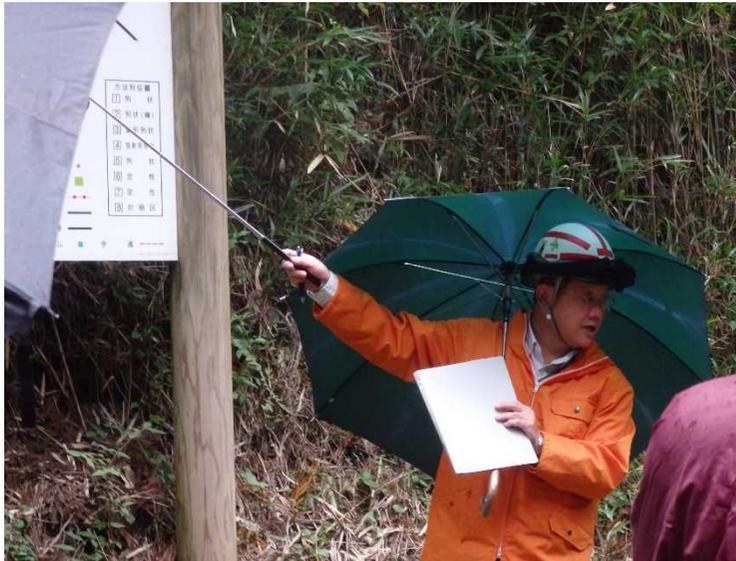


講師 嶋 主任森林整備官



講師 蒲池 森林整備官

【現地研修】（由布市庄内町 星岳国有林 17林班）



星岳間伐展示林の概要説明 高倉総括森林整備官



森林整備(間伐)の説明 井上主任森林整備官



木の特徴・見分け方 嶋主任森林整備官



森林整備(間伐)の説明 井上主任森林整備官